

アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

## 空知管内 岩見沢市立栗沢中学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、北海道アイヌ教育相談員を外部講師として招聘し、講話やアイヌ文化工芸品等に関する説明等を通して、アイヌの人たちの生活、文化及び歴史等について理解を深めるとともに、文化や歴史の継承について探究的な学習を行いました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

北海道アイヌ教育相談員の講話や説明を通して、アイヌ語が語源となっている地域の地名や川の名前、アイヌ文化に係る工芸品等に対する興味・関心を喚起し、「アイヌ文化と栗沢の関係や北海道の歴史について調べ、保護者及び地域の人に発表する」という探究課題を設定しました。



【講話の様子】

##### (2) 情報の収集

北海道アイヌ教育相談員の講話、ピラサ、インターネット、岩見沢市立図書館を活用し、アイヌの人たちが自分たちの文化を大切に受け継いできたことや、アイヌの人たちの歴史について学びました。そこで、生徒の話合いから「アイヌの人たちのように環境を大切にし、栗沢に住み続けるためにできること」「人や国の不平等をなくすためにできること」等のテーマを設定し、資料の収集を行いました。



【アットウシ試着の様子】

##### (3) 整理・分析

収集した資料の整理・分析を行い「アイヌの人たちの生活から食材を無駄にしないで大事に料理することが、環境を守ることにつながる」「互いの文化を尊重し合うこと」等を学びました。



【発表会の様子】

##### (4) まとめ・表現

学習の成果として、個人やグループで探究した内容をレポートやプレゼンテーション等にまとめ、小・中学校合同の「マロンドリーム発表会」において発表し、「私たちが栗沢のためにできること」について理解を深めました。

#### ②生徒の感想等

- ・アイヌ語に由来する地名などについて知ることができ、栗沢のよい点などについても理解を深めることができたので、今後の学習に生かしていきたいと思いました。

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- アイヌの人たちの歴史・文化等に関するアンケートで「住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が 14.9%から 50.5%、「アイヌの人たちの歴史や文化についてもっと調べたいと思う」と回答した生徒の割合が 16.1%から 44.8%にそれぞれ増加するなど、北海道アイヌ教育相談員からの講話を通して、北海道や地元に対する生徒の興味・関心を高めることができました。
- 総合的な学習の時間において、系統性のある学びを展開するために、今年度の学習についての成果や課題を生徒自身がまとめる等の工夫をする必要があります。